



今年もあと少しで暮れようとしているこの師走になって、衆議院解散・総選挙が行われることとなり誠にせわしい年の瀬となりました。今年一年を振り返るといろいろなニュースがありましたが、相変わらず自然災害の多い年でもあったと感じます。

木曽御嶽山の噴火はさておき、7月以降平年を上回る4つの台風が上陸したほか、各地で大雨が相次ぎました。長野県南木曽町での土石流、広島市での土砂災害など、9月以降も近畿や関東、北海道の各地で1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が降り、土砂災害や浸水の被害が相次ぎこれによる犠牲者が90余名にのぼりました。気温や海水温の上昇による水蒸気の増加が要因の一つとみられ、専門家は今後温暖化が進めばさらに災害が発生するおそれがあると指摘しています。

我々のフィールドである瀬上沢でも今年は幸いに山崩れはなかったものの、小川への土砂流入による洪水で山道の損壊や広場に被害がありました。瀬上の森は表土が薄く急斜面のうえに樹木が大きくなっていることから、短時間の豪雨にあうと山崩れが起こる危険がかなり高いと予想されます。今我々がやっている元気な森づくり活動がこれらの危険防止に少しでも役立つことを信じ、活動を地道にさらに広く推進してゆく必要があると感じています。

小嶋 紀之

次回の活動予定

● 26年12月、27年1月活動予定

①12月13日(土)17:30～ 忘年会 於『山内農場港南台店』 横浜 fiveビル 3F

集合場所: 17:20 JR港南台駅改札口前 (山内農場 tel.832-9788)

出欠連絡: 12/5まで、会費補助有

②12月14日(日)9:30～14:30 集合場所 池の下広場

◇作業目的:健全な杉林を目指した保全作業

・作業内容:いっしんどう広場 A1-2 スギ林の保全作業、枯木・欠頂木・暴木・ツル植物・越境竹の除伐作業、ヒサカキ周辺に竹材で柵設置作業

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ・竹ノコ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ

③平成27年1月11日(日)9:30～14:30 集合場所 池の下広場

◇作業目的: 作業始め祈念式と定例作業 於 いっしんどう広場

・作業内容:オオシマザクラ周辺の笹刈り・枯木の除伐作業、古くなった巣箱の撤去作業
ヒサカキ周辺に竹材で柵設置作業

・持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ・竹ノコ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、ロープ

④平成 27 年 1 月 25 日(日)9:00~14:30 栄区主催『自然体験教室』

集合:公田竹林駐車場(一部直接区役所) 又本受託事業の事前準備として1/12,乃至1/18 を予定しております。ご協力をお願いします。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

(1)平成26年11月6日(木)雨 18:30~区役所区政推進課との打ち合わせ

参加者: 樹林地部会 5名 区政推進課 2名

区主催の『自然体験教室』実施についての打合せ(委託業務)。

(2)平成26年11月9日(日)晴 谷戸ボラ塾生 受け入れ

9:30~14:00 いっしんどう下 A1-2 地点下草刈り及び除伐作業

参加者: 樹林地部会と事務局で 計14名 ボラ塾生 9名 総勢23名

作業内容: 作業を4班に分け、1班は中尾根近く、2班は真ん中、3班は蜂の巣より下の部分とそれぞれ担当の切り倒し方や草刈りの仕方等の説明を聞きながら作業を行った。

4班は4名編成で本杭打ちの作業と、除伐材利用で垣根を作り散策路を保護した(一部)。



作業前 笹で隠れる程



作業中 チェンソーも使って



処女地なので整理した山が高くなる



作業後



一部柵にした ウォーターバーも



本杭打ち

(3)平成26年11月16日(日)晴 臨時作業 いっしんどう広場上(23日事業予定準備)

参加者: 樹林地部会 計5名

作業内容:23日の『谷戸の子供教室』用会場設営作業。

(4)平成26年11月23日(日)晴 谷戸の子供教室 受け入れ

9:30~14:00 いっしんどう広場上、除伐、玉切り、工作をそれぞれ3班に分かれて実施、順番に作業体験をしてもらった。

参加者: 樹林地部会と事務局 13名 教室参加者 大人17名、子供15名 総勢45名

活動内容: マーク木除伐班、玉切班(コースター作成)、山の恵み利用工作班 のそれぞれに分かれて指導対応した。親子づつを3班に分けそれぞれ3コースを体験してもらいお八つもはさみながら12時一旦池の下広場へ下り、塾生等は解散した。昼食を池の下広場でとって午後中尾根、旧研修地等をまわり、本杭打ちを確認をした。



ノコギリ実習 玉切り作業



間伐作業



どんぐりを使ったクラフト

(瀬上の森の恵み) 平成26年11月撮影

樹林地部会 木の子班 報告第3号



学名: ノウタケ【脳茸】

分類: ホコリタケ科ノウタケ属

梅雨どきから10月かけて、落葉
広葉樹の腐葉土など、有機物に富む林
内地上に発生する。

【特徴】

風船形~パラシュート形をした頭部と、それを支える柄とからなる**電球形のきのこ**。

高さは5~10Cm内外。頭部の表面は黄土褐色~茶色。

内部の肉は、**若いときはマシヨマロ状**で、成熟すると黄褐色~緑褐色の綿クズ状となる。

内部の肉が白いうちのみ食用となる。指でおさえて弾力のあるものは若くて肉が白い。

外見に似合わず味は良い、熱湯に潜らせ、外皮を取り除いてから調理を行う。

テンプラ・中華の煮込み・炊き込みご飯・味噌汁等がお勧めだそうです。

【参考】

- ・採り方のコツは、指で押さえてみて、やわらかいものは採らず、弾力のあるものだけを採るようにする事。